

鳥取市バリアフリー基本構想（素案）に係る
市民政策コメント実施結果

1. 実施期間

令和6年12月16日（月）～令和7年1月6日（月）

2. 募集結果

提出者数 1名 意見数 3件

3. 意見の内容及びそれに対する市の方針

No	市民政策コメントの内容	市民政策コメントに対する市の考え方
○全体について		
1	<p>基本構想は、各地域から出された具体的な要望ではないため、魅力を感じることができない。今後、基本構想の真価を開花させるために、市内各地域から、同地域のバリアフリー（ユニバーサルデザイン）推進プランを公募し、ニーズと発展性のある企画に昇華させることが肝要と進言します。</p>	<p>本市は、令和4年度に策定した鳥取市バリアフリーマスタープラン（以下「マスタープラン」という。）において、面的かつ一体的にバリアフリー化を促進していく14の移動等円滑化促進地区（以下「促進地区」という。）を設定しました。この度の基本構想では、そのうち2つの地区（鳥取駅・城跡周辺地区、鳥取大学前駅・湖山駅周辺地区）をさらに重点的にバリアフリー化を行うべき地区として設定しようとするものです。今後、基本構想の中で重点整備地区に位置付ける際には、マスタープランで設定した促進地区を中心に検討していくこととなります。</p> <p>各地域のバリアフリー整備にあたっては、地域住民のニーズを反映することが重要と考えており、今後の基本構想の見直し等においても、住民参加によるまち歩き点検により提案される特定事業を盛り込んでいくなど、住民ニーズを反映した計画となるよう取り組んで参ります。</p>

○道路について

2	<p>松林公園（美萩野1丁目）周辺には、小学校、幼稚園、医療施設、介護施設等や、町内にも各種障害介護施設が多数あるが、施設間や公園をつなぐ道路は狭い上に段差が多く、車椅子等での移動は困難な上に危険であり、交流の妨げになっている。</p> <p>そのため、これらの施設をつなぐには、一定の広さを確保した段差のない歩道の整備、車椅子等での移動を可能とする整備、バリアフリー歩道が必要となる。これは、障害者だけではなく、高齢者や幼児等にとっても、やさしいユニバーサルな道路整備と言える。</p>	ご意見は関係課と共有し参考とさせていただきます。
---	--	--------------------------

○公園について

3	<p>本来公園も交流の場であるが、松林公園は、高台の上に位置し、公園内は凸凹傾斜面のため、障害者等が公園内に立ち入るだけでも補助を必要とし、公園内での活動は、凸凹斜面や松の根などによる転倒の危険を伴っている。</p> <p>そのため、障害者等が、安心安全に楽しく利用できるようフラット化が必要であり、整備にあたっては、町民が長年親しんだ樹齢100年を超える松林や地形変動への不安対策を解決するための町内合意を得て、町内創意のもとユニバーサルな公園に作り替える時期に来ている。町内合意の構想を策定する際には、松林公園の現状についての確かな情報、建築技術上の専門家からの助言、町内ニーズを踏まえた暫定プラン等を検討し、住民へ提言していく公園整備検討委員会を町内会内部に設置し、合意形成を図ることが肝要である。</p>	ご意見は関係課と共有し参考とさせていただきます。
---	--	--------------------------